



《令和5年4月28日 欽迎遠足（加津佐町権田公園にて）》

と
も
か
キ



発行所
長崎県南島原市
口之津町甲3272
口加高等学校
PTA調査広報委員会
☎0957-86-2180
題字 久間章生氏

今年度、伝統ある口加高校のPTA会長を務めさせていただきます、松尾秀一と申します。コロナは5月から5類感染症となり、今年度は制限のない色々な活動が復活できる年になりそうです。高校総体では、4年ぶりに声出し応援もOKとなり、久しぶりの大歓声の中での試合。生徒たちの頑張りに感動をもらいました。

高校3年間はあつという間に過ぎていきます。PTAといたしましても、限りある時間の中で、子どもたちの教育環境、生活環境を守っていかなければなりません。

高校3年間はあつという間に過ぎていきます。PTAといたしましても、限りある時間の中で、子どもたちの教育環境、生活環境を守っていかなければなりません。

試行錯誤してくださる教職員の皆様と共に協力しながら、子どもたちが、この目まぐるしく変化していく時代の中で、心身ともに健康に楽しく過ごせるようサポートしたいと思っております。

日頃からの保護者の皆様のご理解・ご協力あってこそPTA活動ですが、時代とともに変化してきています。「出来る事を出来る人が出来る範囲で」という考え方で活動していこうと思つております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



口加高等学校 馬木みどり

「自己肯定感」

令和5年度の口加高校キャッチフレーズは「『わたし』から始まる口加の未来」。生徒が主役の学校づくりを目標の第一に挙げています。近年、日本の子どもたちの自己肯定感の低さが問題視されています。自己肯定感が高い、「ありのままの自分をこれで良いと認める気持ち」を持つている子どもは、今の自分を認め自分を大切にするようになり、安心して次のステップへと進んでいくことができます。他人と比べたり一方的な評価を押し付けたりすると、子どもの自己肯定感は低下する。自分の自分を認めることができず、先へ進めなくなってしまいます。子どもから相談があると、どうしても我々は「それは○○すればいい」などとアドバイスしたくなりますが、悩んでいる子どもは「それができれば苦労しない」「大変な思いをしているのにわかつてくれない」と思つてしまふこともあります。子どもにとつて信頼できる大人とは、自分をわかってくれる人なのです。

ドロシー・ロー・ノルト博士は著書「子どもが育つ魔法の言葉」の中で「励ましてあげれば、子どもは自信を持つようになる」「認めてあげれば、子どもは自分が好きになる」「見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる」と言っています。保護者の皆様と協力して、子どもたちの健やかな成長を育んでいくよう教職員一同努めています。



ドロシー・ロー・ノルト博士
著書「子どもが育つ魔法の言葉」

「コロナ禍からの復活の年」



PTA会長 松尾秀一



令和5年度 長崎県高校総体 大会スローガン

～高鳴れ鼓動 集え努力の結晶～



～主将・部長から大会を終えて…～



